KORG

KORG Gadget

for iPad

MOBILE SYNTHESIZER STUDIO

スタジオ・ガイド

J 3

このたびは、**コルグ Mobile Synthesizer Studio KORG Gadget**をお買い上げいただきましてまことにありがとうございます。本製品を末永くご愛用いただくためにも、よくお読みになって、正しい方法でご使用ください。

http://www.samplemagic.com/

http://www.loopmasters.com/

http://www.primeloops.com/

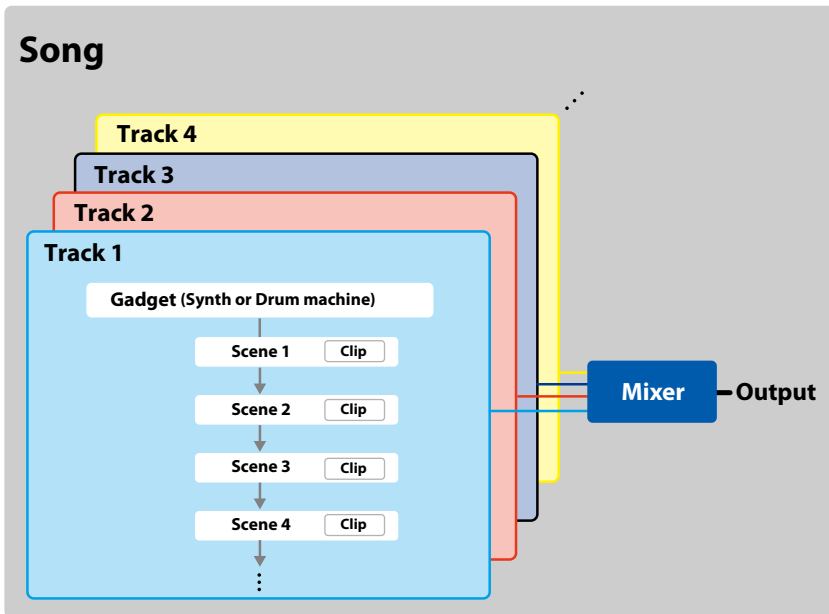
http://www.rawcutz.com/

目　次

クイック・リファレンス

基本的な知識

KORG Gadgetの構成

Gadgetは、以下のような構成になっています。

ソング（Song）

Gadgetは、1曲を「ソング」という単位で管理します。1つのガジェットで演奏する場合も、複数のトラックで1つの曲に仕上げる場合も、それらをすべてソングとして保存します。

1つのソングに保存されるもの

- シーンとクリップの状態
- 各ガジェットの音色
- ミキサーの設定
- テンポ、スウィングの設定など

トラック（Track）

トラックは、1つのガジェットを演奏するためのシーケンサー /ミキサーの1つのパートです。トラックは、「ガジェット」と数小節単位の「シーン」で構成されています。

シーン（Scene）

「シーン」は、数小節がいくつかかたまったものです。
一般的に一つの曲は、数小節単位の「イントロ」、「Aメロ」、「サビ」などで構成されています。これらの各構成要素が「シーン」にあたります。

イントロ（シーン 1）	A メロ（シーン 2）	サビ（シーン 3）

クリップ（Clip）

「クリップ」とは、シーン内の各トラックのデータです。
各トラックで個別に設定することができ、同じシーンの中でも、クリップごとに小節数が異なる設定が可能です。

演奏の準備

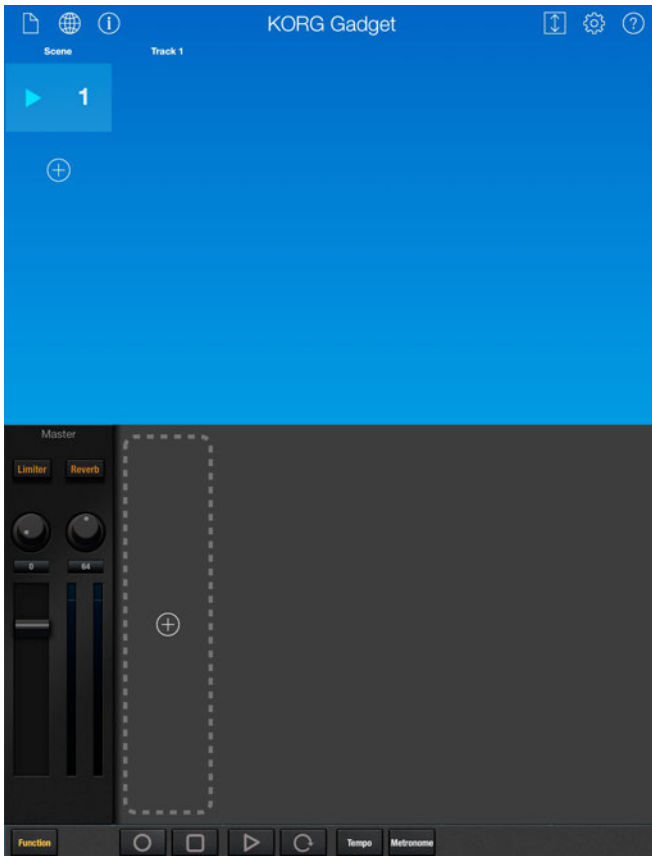
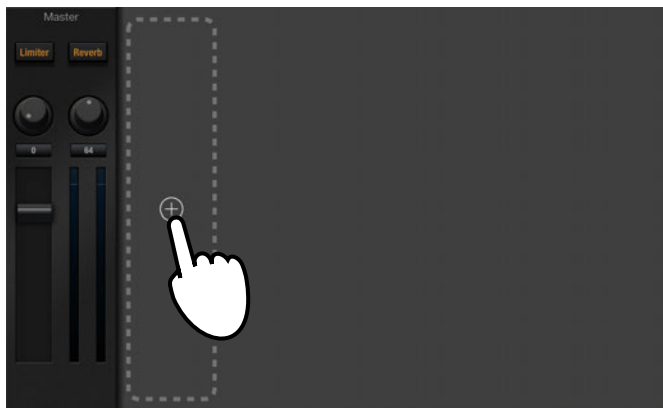
iPadのホーム画面に表示されるKORG Gadgetアイコンをタップして起動します。
iPad本体のボリュームが上がっていることを確認します。

Tip ヘッドホンや外部スピーカー（アンプ内蔵スピーカー）を使用すると、より高音質でお楽しみいただけます。

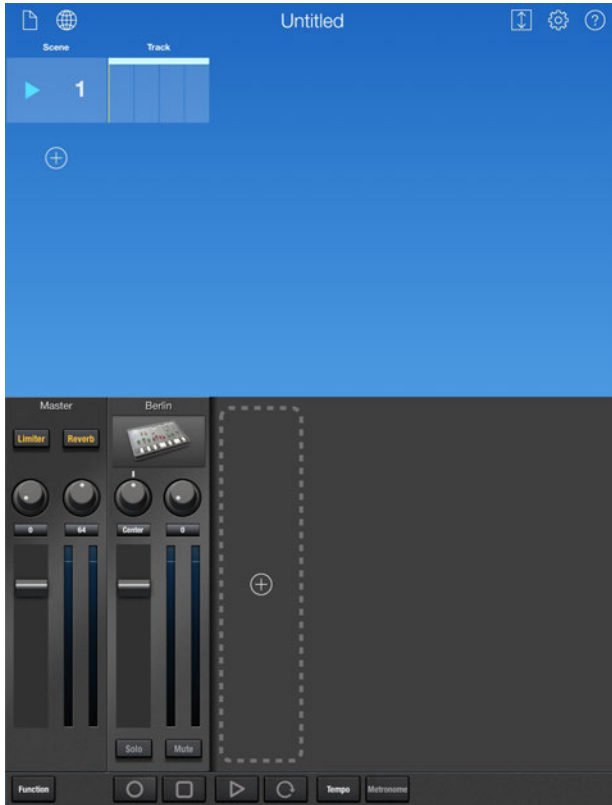
シンセ・ガジェットを演奏する

まず、Berlinシンセ・ガジェットを選んで演奏してみましょう。

1. メイン画面を表示します。
メイン画面では、各トラックへのガジェットの割り当て、シーンの編集、各トラックの音量調節を行います。

メイン画面

2. トラック追加ボタンをタップしてトラックを追加します。

ガジェット選択画面が表示されます。画面には15種類のガジェットが表示されます。

3. ガジェット選択画面からBerlinシンセ・ガジェットを選びます。

4. クリップをタップします。

エディット画面が表示されます。エディット画面は、ピアノ・ロールとガジェット・パネルで構成されています。エディット画面では、以下のことを行います。

- ガジェットの演奏と音色のエディット
- トラックへの録音と演奏データのエディット

エディット画面

Back
Scene 1
Draw
Select
1 Bar
A#4
A4
G4
F4
D#4
D4
C4
A#3
A3
G3
F3
D#3
Hold to Erase
01: Synkronized
VCO / MOD
VCF / AMP
KORG BERLIN
PORTA.
VOLTAGE CONTROLLED OSCILLATOR
MOD
TONE
EG 1
LFO
ENVELOPE GENERATOR 1
LOW FREQUENCY OSCILLATOR
SYNC
KEY
TEMPO
BEND
VIB.
PITCH
WAVEFORM
BALANCE
ATTACK
DECAY
SHAPE
FREQ.
S&H
SCALE
OCTAVE
Function
Quantize
Tempo
Metronome
Solo
Mute
Gadget

5. 画面の下側に表示されるキーボードでガジェットを演奏します。
キーボードをタップしたり、スライドすると、ガジェットが発音します。

演奏をしてフレーズやパターンが思いついたら、27 ページの「ソングの作成」を参照して録音してみましょう。

シンセの音色をエディットする

シンセの音色をエディットしてみましょう。

1. ガジェットのノブ、スライダー、ボタンを操作して音色をエディットします。
複数のエディット・ページがある場合は、ボタンやスイッチをタップしてエディット・ページを切り替えます。

エディット・ページ切り替えスイッチ

Tip ノブの操作については、iOSの設定で行います。

ドラム・ガジェットを演奏する

今度はドラム・ガジェットを演奏してみましょう。

1. メイン画面でトラック追加ボタンをタップします。
ガジェット選択画面を表示します。

2. 選択画面からドラム・ガジェットを選びます。
「London」、「Tokyo」、「Amsterdam」がドラム・ガジェットです。ここでは、Londonを選んでみましょう。

3. 画面に表示されるパッドをタップしてガジェットを演奏します。

ドラムの音色をエディットする

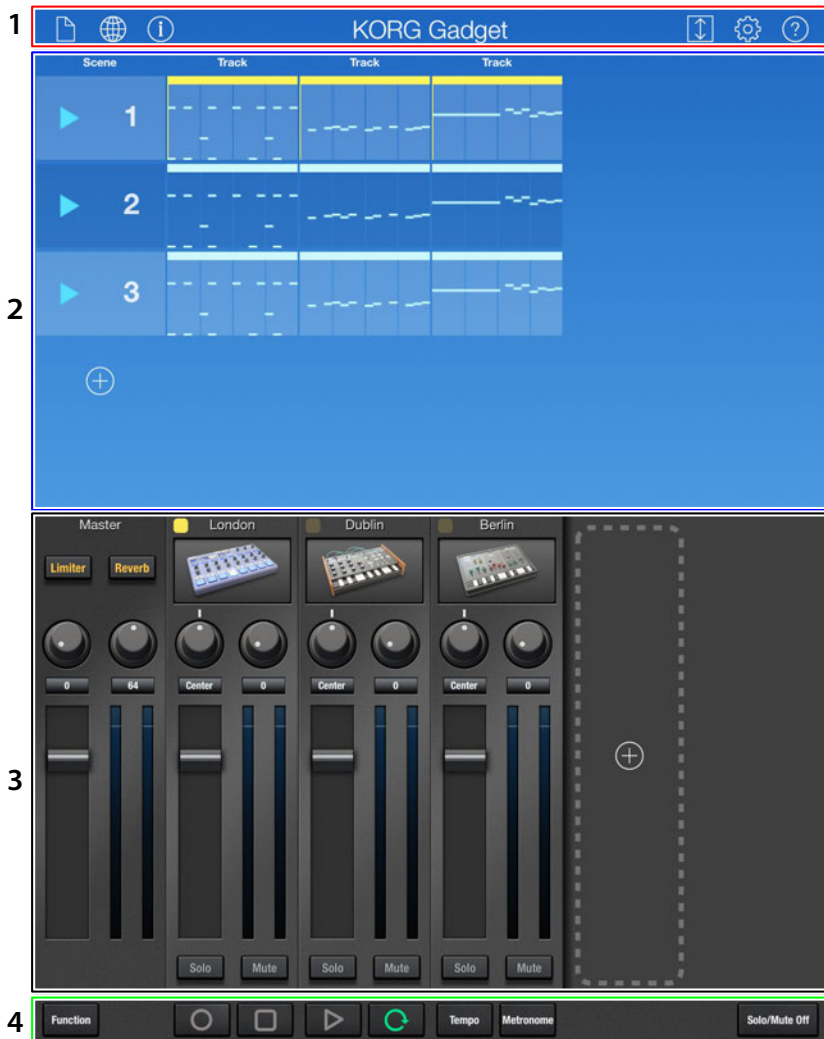
ドラムの音色をエディットしてみましょう。

1. ガジェットのノブ、スライダー、ボタンを操作して音色をエディットします。
   複数のエディット・ページがある場合はボタンがあります。ボタンをタップしてエディット・ページを切り替えます。

Tip ノブの操作については、iOSの設定で行います。

メイン画面

トラックやシーンなどの全体を確認できる画面です。以下のことを行います。

- 各トラックへのガジェットの割り当て。
- シーンの追加、コピー、削除、拍子の設定など。
- 各トラックの音量調節。

1. ヘッダー

a. ファイル・ボタン

ボタンをタップすると、ソングなどのデータをロードしたり、セーブしたりするメニューが表示されます。

新規：新規のソングを作成します。

開く：保存しているソングを開きます。

保存：現在開いているソングを上書き保存します。

別名で保存：現在開いているソングを別名で保存します。

エクスポート：現在開いているソングをオーディオ・ファイルに書き出します（→41 ページの「エクスポート」）。

b. GadgetCloudボタン

ボタンをタップすると、楽曲共有サービス「GadgetCloud」に接続します。

c. インフォーメーション

アプリのバージョン情報などを表示します。

d. ソング名

ソング名を表示します。タップすると、名前を変更できます。

e. 拡大ボタン

ミキサー・セクションを非表示にして、ソング・セクションの画面を広げます。

f. 設定ボタン

WISTなどの設定を行います（→42 ページの「その他の設定」）。

g. ヘルプ・ボタン

操作方法などのヘルプ画面を表示します。

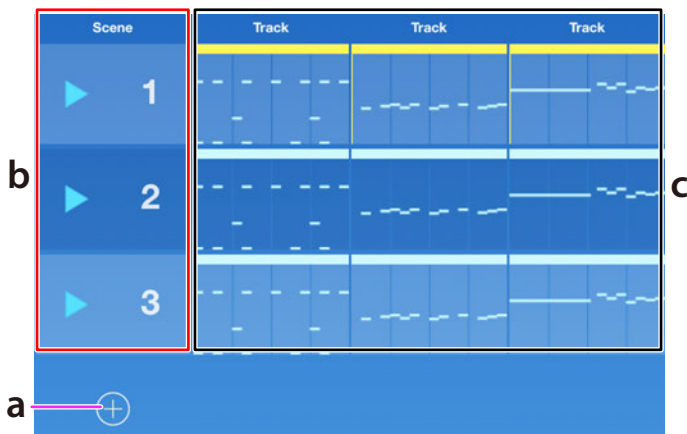
Tips：画面にツール・チップを表示します。

Manual：取扱説明書を表示します。

FAQ：「KORG app Help Center」を表示します。

Note: 取扱説明書または「KORG app Help Center」を表示させるには、インターネットに接続できる環境が必要です。

2. ソング・セクション

各トラック、シーン、クリップを表示します。クリップをタップすると、エディット画面に移動してクリップの内容とガジェットを表示します。

a. シーン追加ボタン

シーンを追加します。

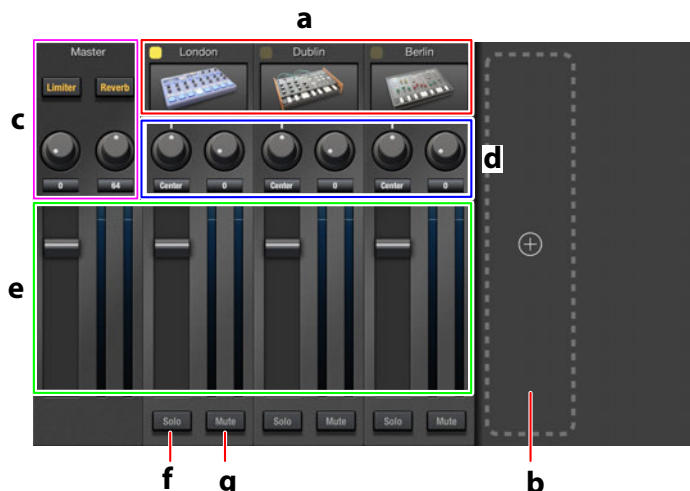
b. シーン・ナンバー

シーンのナンバーを表示します。 ▶をタップすると、そのシーンのみを再生します。

c. クリップ(Clip)

各シーンに録音されているノートを表示します。タップすると、エディット画面を表示します。

3. ミキサー・セクション

マスターの音量レベルとパンと各トラックの音量レベル、パン、ソロ/ミュートを設定します。

a. ガジェット

トラックに割り当てたガジェットを表示します。タップするとエディット画面が表示されます。

ガジェット名の左にあるボタンが黄色く点灯しているガジェットを、iPadに接続した外部MIDIコントローラーでコントロールできます。

b. トラック追加ボタン

トラックを追加します。ボタンをタップするとトラックが追加され、ガジェット選択画面が表示されます。画面からトラックにアサインするガジェットを選択します。

c. マスター・エフェクト

Limiterスイッチ

リミッターのオン/オフを切り替えます。

Limiter Depthノブ

リミッターの深さを設定します。

Reverbスイッチ

リバーブのオン/オフを切り替えます。

Reverb Timeノブ

リバーブ・タイムを設定します。

d. Panノブ、Sendノブ

Panノブ

各トラックまたはマスターの音の定位を設定します。

Sendノブ

各トラックのマスター・リバーブ・エフェクトへのセンド・レベルを設定します。

e. フェーダー

各トラックまたはマスターの音量レベルを設定します。マスターは全体の音量を設定します。
右にレベル・メーターが表示されます。

f. Soloボタン

ソロ・オンにしたトラックの音のみを出力します。

g. Muteボタン

各トラックの音をミュート（消音）します。

4. フッター

a. Functionボタン

ファンクションを表示します。ファンクションでは、表示されるボタンを目的に応じてタップして各種設定を行います。

b. (REC) ボタン

演奏をリアルタイム・レコーディングします。

c. (STOP) ボタン

録音や再生を停止します。

d. (PLAY) ボタン

再生します。再生中に押すと一時停止になります。

e. (Loop) ボタン

シーンをループします。

f. Tempoボタン

ボタンをタップするとダイアログ・ボックスが表示されます。テンポなどを設定します。

Tempo
演奏のテンポを設定します。

Swing
曲全体をスウィングさせる量を設定します。

g. Metronomeボタン

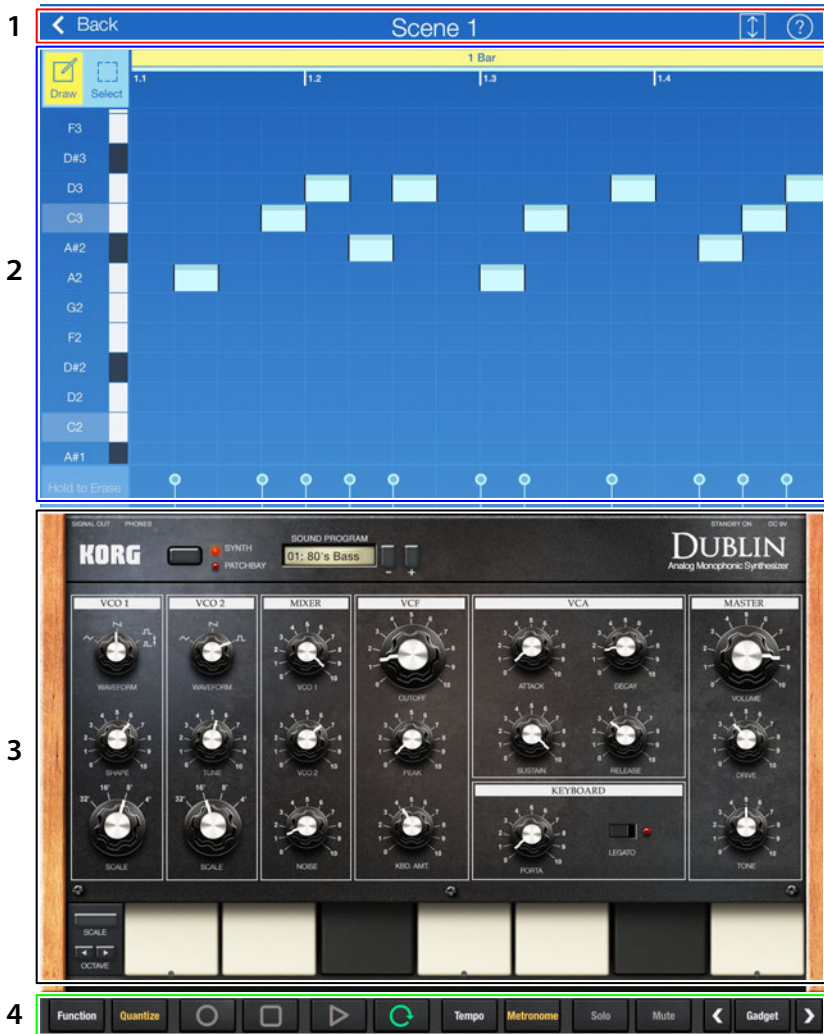
メトロノームのオン/オフを切り替えます。

h. Solo/Mute Off

すべてのトラックのMuteとSoloをオフにします。

エディット画面

エディット画面は、ピアノ・ロールとガジェット・パネルで構成されています。以下のことを行います。

- ガジェットの演奏と音色のエディット
- ソングの録音と録音したデータのエディット

1. ヘッダー

a. Backボタン

メイン画面に戻ります。

b. シーン

現在エディット中のシーンを表示します。

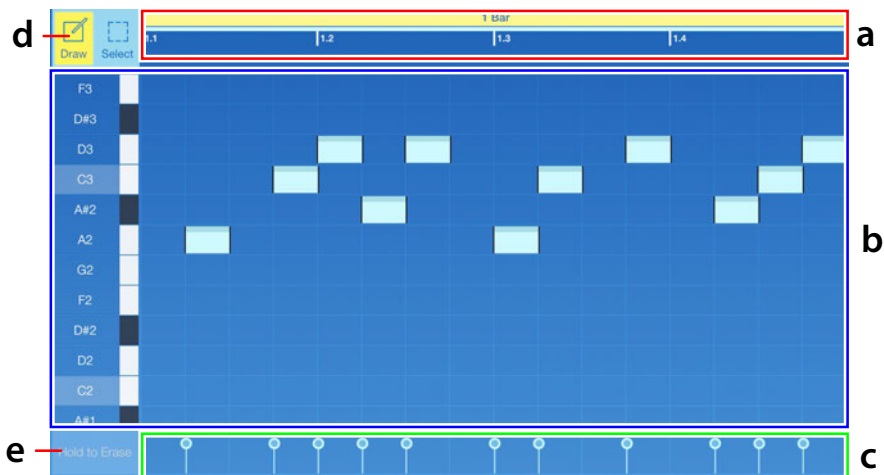
c. 拡大ボタン

ピアノ・ロールを拡大します。

d. ヘルプ・ボタン

操作方法などのヘルプ画面を表示します。

2. ピアノ・ロール

各トラックのクリップにレコーディングされたノートを表示します。クリップへのレコーディングは、リアルタイム･レコーディングするか、画面をタッチしてノートを入力します。また、リアルタイム･レコーディング後にエディットすることも可能です。

縦軸上にノートを表示します。ノート表示は、ファンクション [* Bar]のNote Foldで切り替えることができます。ノートをタップすると発音します。

a. ロケーター

横軸上にクリップのロケーションを表示します。クリップに複数の小節がある場合は、「2 Bar」や「3 Bar」などの小節表示をタップすると、その小節の内容が表示されます。

b. ノート表示

クリップに録音されたノートを表示します。ベロシティ値によって色の付き方が変わります。

c. パラメーター表示

録音時に記録したガジェットのパラメーター値などを表示します。タップすると、表示部分が上に広がり、パラメーター値などをエディットできます。

d. Draw/Selectボタン

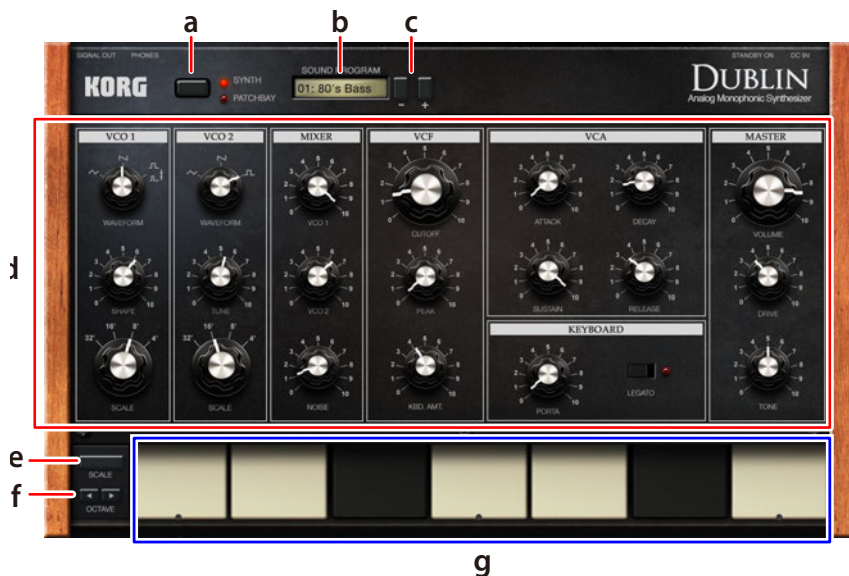
ノートを編集するときに使用します。

ノートの編集については、29 ページの「シーンを追加し録音する」をご覧ください。

e. Eraseボタン

再生中にタッチしたままにすると、録音されているノートが消去されます。

3. ガジェット・パネル

ガジェットの音色パラメーターとキーボードまたはパッドです。

a. エディット画面切り替えボタン/スイッチ

エディット画面が複数ある場合に表示されます。タップしてエディット画面を切り替えます。

b. プログラム・ディスプレイ

音色名が表示されます。タップすると、音色リストを表示します。リストから音色を選択します。

c. プログラム選択ボタン

プログラムを選択します。タップするたびにプログラムが1つ切り替わります。

d. パラメーター

ガジェットのパラメーターを表示します。ノブやスイッチを操作して音色をエディットします。
また録音中に、これらのノブやスイッチを操作すると、その動きが記録されます。

Tip ノブの操作については、iOSの設定で行います。

e. Scaleボタン

ボタンをタップするとダイアログが表示されます。キーボードで演奏するスケールなどを設定します。

Scale Type
キーボードで発音するスケールを設定します。

Key
スケールの基準となるキーを設定します。

Scale Step
1オクターブ内で発音するノートの数を設定します。

f. オクターブ・ボタン

キーボードで発音するオクターブを設定します。

g. キーボード、パッド

ガジェットを演奏します。シンセ・ガジェットでは、キーボードをタップまたはスライドすることによってスケールを演奏することができます。スケールはScaleボタンをタップして設定します。ドラム・マシン・ガジェットではパッドをタップします。

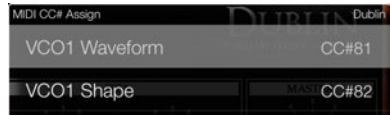
ノブやスイッチにMIDIコントロール・チェンジ・メッセージを割り当てる

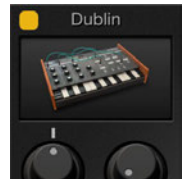
各ガジェットのノブやスライダー、スイッチなどのコントローラーにMIDI CC#（MIDIコントロール・チェンジ・メッセージ）を割り当てることができます。iPadに接続した外部MIDIコントローラーでガジェットをコントロールすることができます。

1. iPadに外部MIDIコントローラーを接続します。

接続の方法などは、外部MIDIコントローラーの取扱説明書をご覧ください。

2. エディット画面でFunctionボタンをタップしてファンクションを表示します。
画面の右下にMIDI CC#を割り当てるダイアログが表示されます。

3. MIDI CC#を割り当てるパラメーターをタップして選択します。
選択したパラメーターがグレーの色で点滅します。

4. iPadに接続している外部MIDIコントローラーを操作します。
ガジェットがコントローラー側から送信されたMIDI CC#を受信して、選択しているパラメーターに割り当てられます。

Tip MIDI CC#割り当て後、ガジェットのパラメーターを外部MIDIコントローラーでコントロールするときは、メイン画面のミキサー・セクションで、ガジェット名の左にあるボタンをタップして黄色く点灯させます。

4. フッター

a. Functionボタン

ファンクションを表示します。ファンクションでは、表示されるボタンを目的に応じてタップして各種設定を行います。

b. Quantize/Undoボタン

レコーディングの分解能を設定します。リアルタイム・レコーディング時、演奏したノートなどのタイミングを補正します。

また、 (Rec) ボタンをオンにしているときのみ、Undoボタンとなります。

b. (REC) ボタン

c. (STOP) ボタン

d. (PLAY) ボタン

e. (Loop)ボタン

f. Tempoボタン

g. Metronomeボタン

☞ 19 ページの「4. フッター」

i. Soloボタン

現在選択中のトラックの音のみを出力します。

j. Muteボタン

現在選択中のトラックの音をミュート（消音）します。

k. Gadgetボタン

ガジェットを変更します。

l. トラック選択ボタン

トラックを選択します。

ソングの作成

ガジェットを組み合わせてソングを作成する

KORG Gadgetのソング作成は、まずお気に入りのガジェットを探すところからはじまります。

まず、ひとつのガジェット選び、演奏してみましょう。そして、パターンなどを思いついたらシーンに録音します。さらにサウンドが必要だなと感じたところで、他のガジェットを追加していきます。このような作業をくり返すことによって、音から音楽へと自然に変わっていきます。

ガジェットを選択して演奏する

1. メイン画面で （ファイル・ボタン）をタップして表示されるメニューから「新規」を選びます。

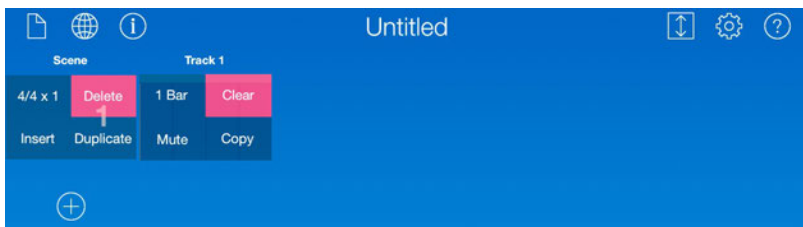
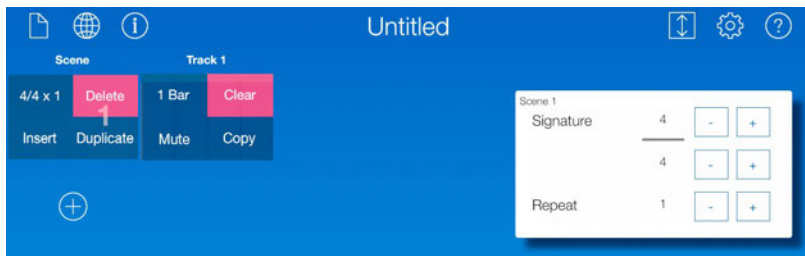
2. 必要に応じて名前をつけて、「OK」をタップします。
ガジェット選択画面が表示されます。

3. 選択画面からガジェットを選びます。
エディット画面に切り替わります。

4. ガジェットの音色をエディットしたり、演奏します。

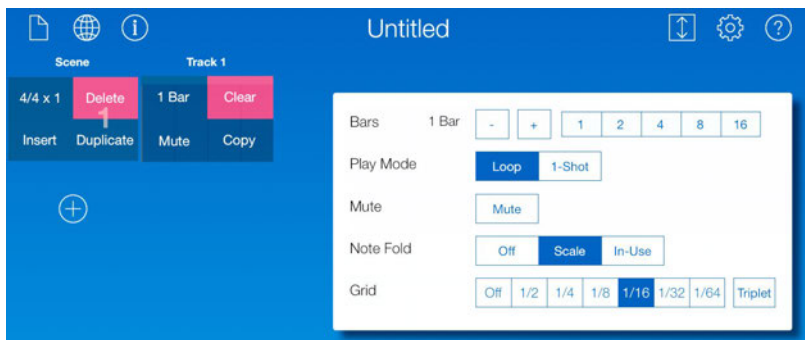
パターンやフレーズなどを思いついたら、クリップに録音してみましょう。

録音する

1. メイン画面でFunctionボタンをタップしてファンクションを表示します。

2. [4/4 x 1]をタップして表示されるダイアログでシーンの拍子、リピート回数を設定します。

Signature：拍子を設定します。

Repeat：再生時にそのシーンを何回再生するかを設定します。

設定し終えたら、ダイアログの外をタップして、ダイアログを閉じます。

3. [1 Bar]をタップして表示されるダイアログで小節数などを設定します。

Bars：クリップの小節数を設定します。

Play Mode：クリップの再生のしかたを設定します。

Mute：トラックをミュートします。

Note Fold：ピアノ・ロールのノート表示を切り替えます。

Grid：クォンタイズの分解能を設定します。設定に合わせ、画面のグリッド表示も変わります。

設定し終えたら、ダイアログの外をタップして、ダイアログを閉じます。

4. Functionボタンをタップしてファンクションを終了します。

5. 作成したシーンをタップしてエディット画面を表示します。

6. RECボタン をタップして、録音待機状態にします。そして、フッターにある各ボタンをタップして録音に関する設定を行います。

Quantizeボタン：ファンクション [* Bar]のGridで設定した分解能でクォンタイズがかかります。

(Loop)ボタン： 選択しているクリップのシーンをループします。

Tempoボタン： テンポを設定します。

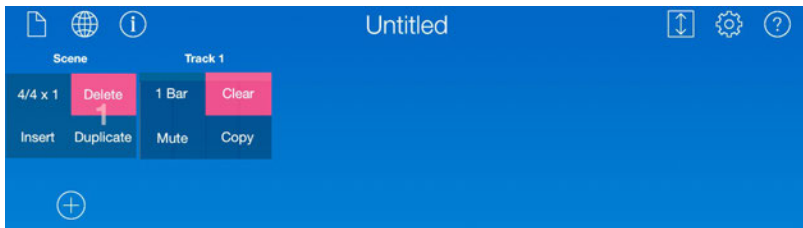
Metronomeボタン： メトロノームのオン/オフを切り替えます。

7. ボタンをタップして録音を開始します。ガジェットを演奏してください。
録音中に、ガジェットのノブやスイッチを操作すると、その動きが記録され、再生時に音色が変化します。

8. 演奏が終了したら、 ボタンをタップして録音を終了します。

Tip 録音すると、フッターの左から2番目のボタンがUndoボタンとなり、アンドゥを実行できます。

シーンを追加し録音する

1. メイン画面でシーン追加ボタンをタップして、シーンを追加します。
Functionボタンをタッチして表示されるファンクションでもシーンを削除したり、複製を追加することができます。

Delete：シーンを削除します。

Insert：現在選択しているシーンの後ろに空のシーンを挿入します。

Duplicate：現在のシーンのコピーを後ろに挿入します。

2. シーンを設定します。

☞ 27 ページの「録音する」の手順2 ～ 4

3. シーンに録音します。

☞ 27 ページの「録音する」

トラックを追加する

1. メイン画面で、トラック追加ボタンをタップします。

2. ファンクションの[* Bar]をタップして表示されるダイアログで小節数などを設定します。

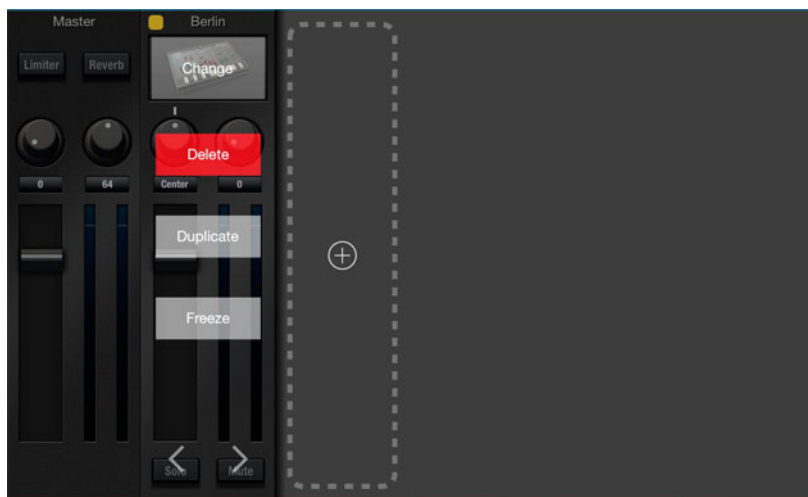
☞ 27 ページの「録音する」の手順3

3. エディット画面でガジェットを演奏し、パターンやフレーズを録音します。

☞ 27 ページの「録音する」

これまでの操作を繰り返し行い、ソングを作成します。

トラックの編集

1. メイン画面でFunctionボタンをタップしてファンクションを表示します。

2. ミキサーに表示された[Delete]をタップするとトラックが削除されます。[Duplicate]をタップすると、トラックの右側に複製が追加されます。

3. ガジェットを変更したい場合は、[Change]をタップします。
ガジェット選択画面が表示されます。

4. トラック数やシーン数、小節数が増えて、動作が重くなってきた場合は、[Freeze]をタップします。
フリーズ機能がオンになり、CPUへの負担が軽くなります。

各トラックの音量、パン、エフェクトの深さを設定する

ひととおり録音が終了したら、ソングを再生しながら各トラックの音量、パンを設定します。

ソングを保存する

完成したソングを保存します。

1. メイン画面の左上にある （ファイル・ボタン）をタップしてファイル・メニューを表示します。
2. メニューから「別名で保存」を選びます。
3. 表示されるダイアログで、名前を入力します。
4. ダイアログの「OK」をタップします。

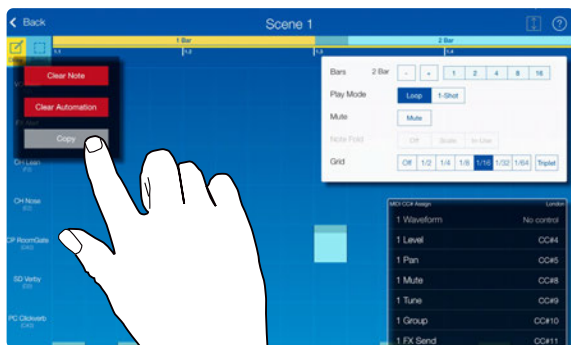
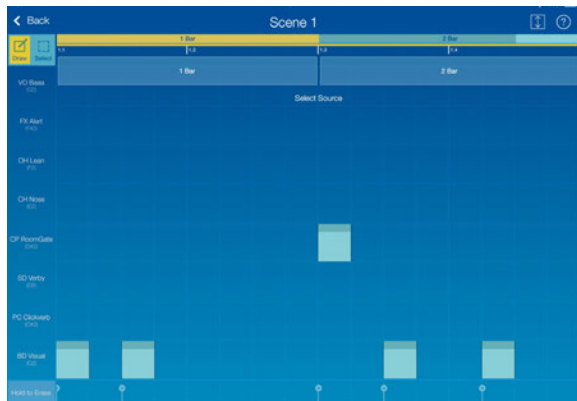
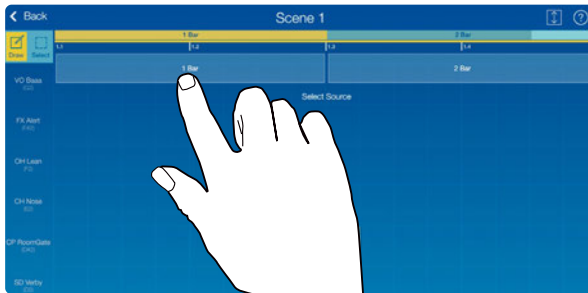
エディットする

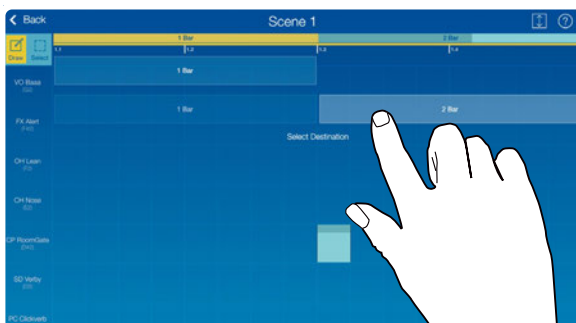
小節単位でノート・データをコピーする

ファンクションの「COPY」コマンドでは、ノート・データを小節単位でコピーすることができます。

Note: 小節が2小節以上ないと、COPYコマンドは有効になりません。コピーする場合は、あらかじめ小節数を複数に設定してください。

1. エディット画面でFUNCTIONボタンをタップしてファンクションを表示します。

2. 左上の[COPY]ボタンをタップします。

コピー元を設定する画面が表示されます。

3. コピー元の小節をタップして指定します。

コピー先の小節を設定する画面が表示されます。

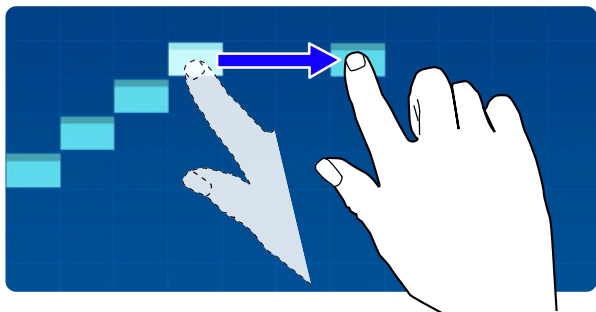
4. コピー先の小節をタップして指定します。

コピーが完了します。

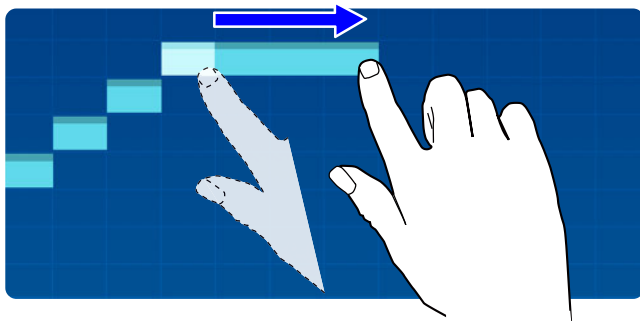
Note: コピーは、複数小節単位でコピーすることはできません。

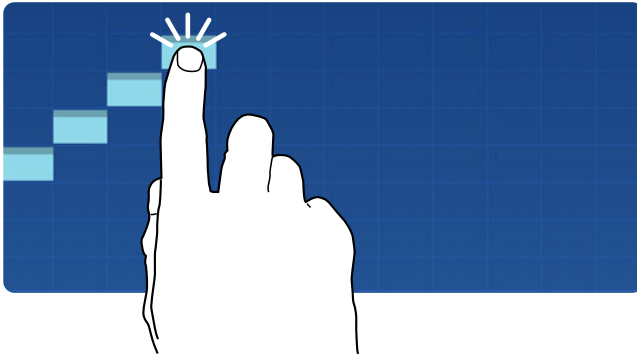
ノートをエディットする

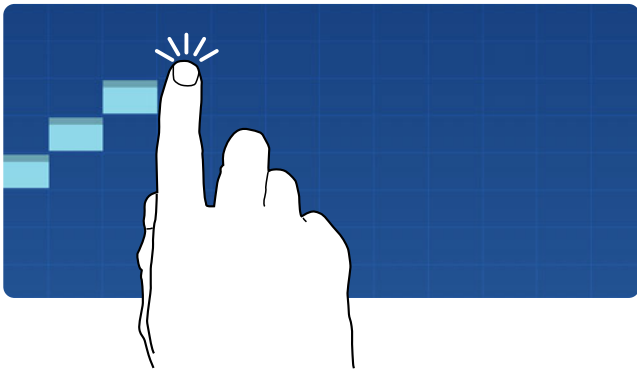
1. Draw/Selectボタンの「Draw」をタップして の状態にします。
この状態で、画面上を指でタップしたり、ドラッグすることで、ノートの移動、追加、削除などができます。

ノートの移動

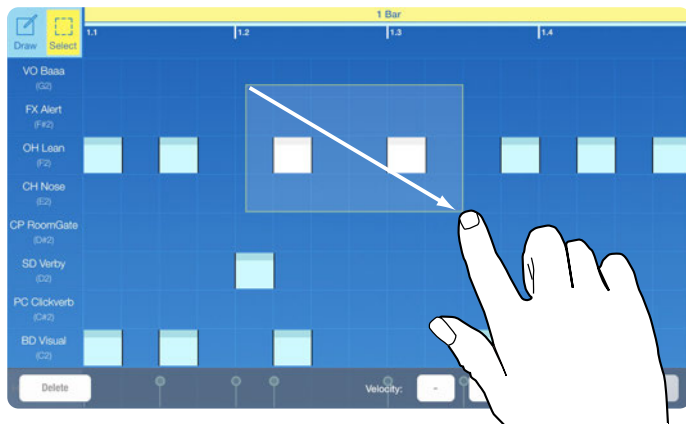
ノートの中央をドラッグすると、移動できます。

ノートの長さを変更

ノートの後ろの部分をドラッグすると、ノートの長さを変更できます。

ノートの追加

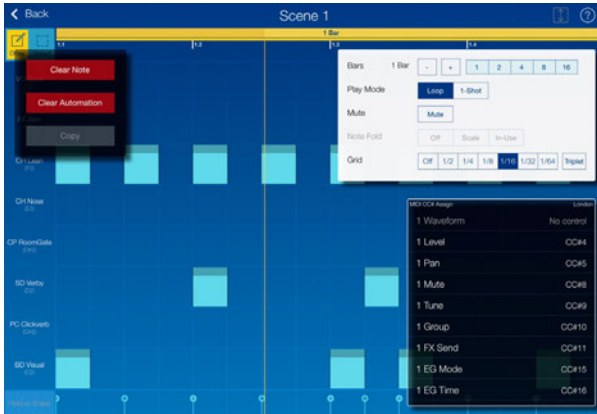
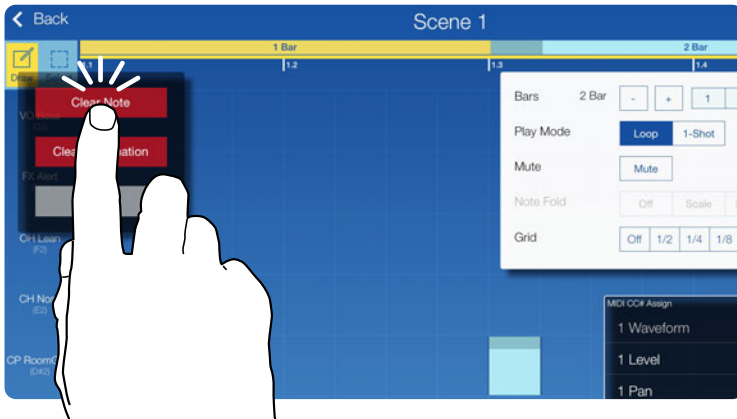
ノートのないところをタップすると、ノートが追加されます。

ノートの削除

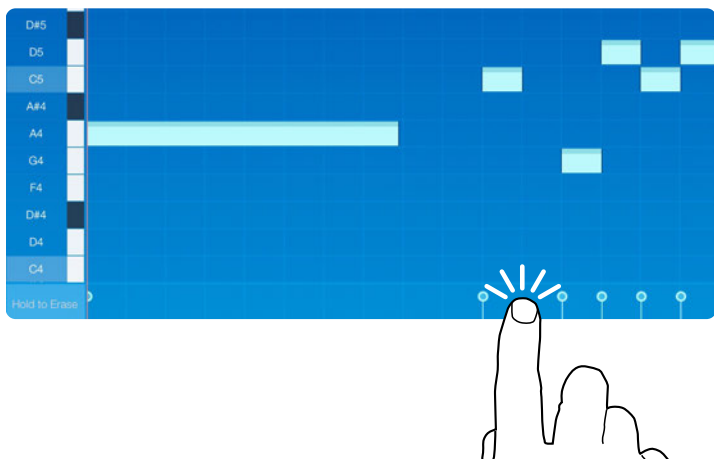
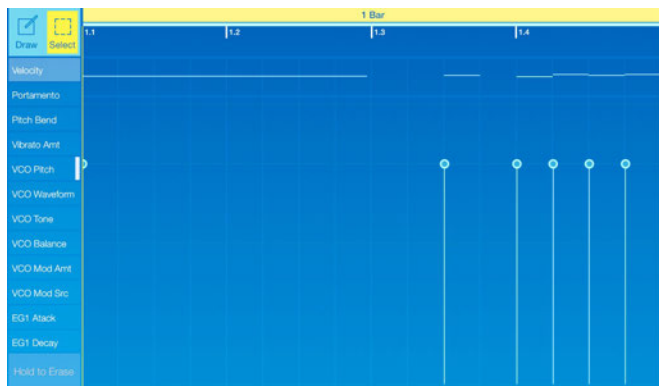
ノートをタップすると、削除されます。

ノートを複数選択してエディットする

1. Draw/Selectボタンの「Select」をタップして の状態にします。
この状態で、画面上のノートを指で選択してエディットができます。

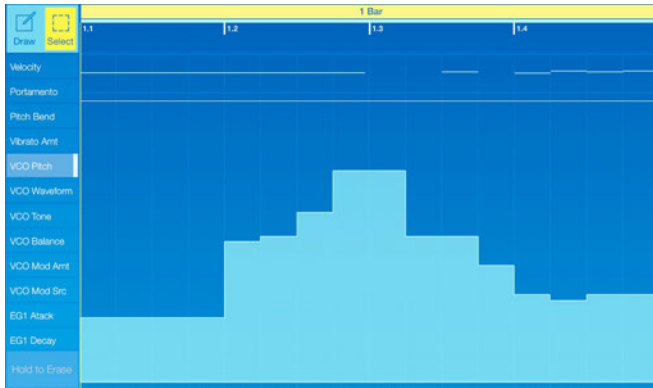
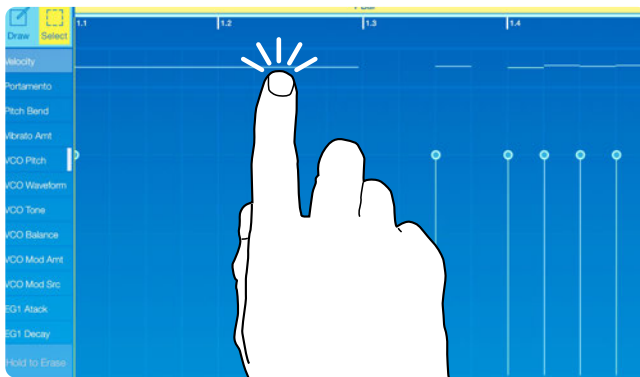
2. エディットしたいノートを指で選択、または囲みます。
選択したノートの色が白色に変わります。

3. 選択したノートを削除したり、音の高さを1つずつ移動したりなどのエディットができます。

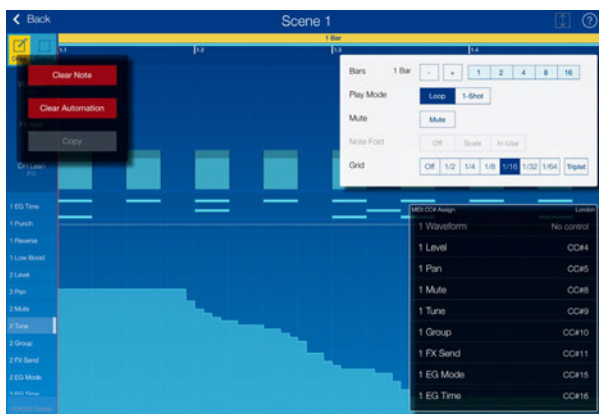
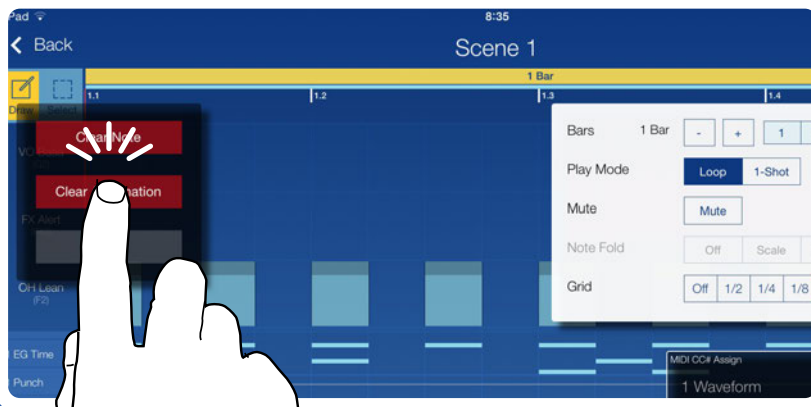
トラック上のすべてのノートを消去する

1. Functionボタンをタップしてファンクションを表示します。

2. 左上に表示されるボタンの中からClear Noteを選びます。
エディット中のトラックにあるノートがすべて消去されます。

パラメーターのエディット

1. ノート表示の下にあるパラメーター・プレビューをタップして表示します。

録音されているノートのパラメーターがグラフィックで表示されます。左側には、エディット可能なパラメーターの名前が表示されます。クリップに記録されているパラメーターは、名前の右端が白くなります。

2. 「Draw」をタップして Draw Select の状態にします。

3. 画面上のグラフィックの上部を上下にドラッグすることで値を変更できます。
エディット・ボタンを「Select」にしてエディットすることもできます。

4. 他のパラメーターをエディットするときは、左側に表示されているパラメーター名をタップします。

画面をノートに戻すときは、パラメーター表示の上に少しだけ表示されているノートをタップします。

トラック上のすべてのパラメーターを消去する

1. Functionボタンをタップしてファンクションを表示します。

2. 左上に表示されるボタンの中からClear Automationを選びます。
エディット中のトラックに記録されているパラメーターがすべて消去されます。

エクスポート

ソングをオーディオ・ファイルとして書き出します。オーディオ・ファイルの形式は、Wavフォーマットの16bit/44.1kHzステレオです。

1. メイン画面の左上にある（ファイル・ボタン）をタップして表示されるファイル・メニューから［エクスポート］を選びます。

2. エクスポート・メニューから、オーディオ・ファイルの保存先を指定します。

GadgetCloud
書き出したオーディオ・ファイルを「GadgetCloud」にアップロードします。世界中のKORG Gadgetユーザーに楽曲を公開することができます。

Note: GadgetCloudは楽曲共有サービス「SoundCloud」をベースにしています。この機能を使用する場合は、SoundCloudのアカウント登録が必要です。

iTunes
書き出したオーディオ・ファイルをiPad本体に保存します。保存したファイルはiTunes経由でコンピューターに転送できます。

Dropbox
書き出したオーディオ・ファイルを「Dropbox」にアップロードします。

Note: あらかじめDropboxへのアカウント登録が必要です。

Audio copy
書き出したオーディオ・ファイルをクリップ・ボードに転送します。オーディオ・データを「AudioPaste」対応アプリで使用することができます。

Ableton Live Project
書き出したオーディオ・ファイルをAbleton Live上で各トラックに配置された状態の「プロジェクト・ファイル」としてiPad本体に保存、またはDropboxにアップロードします。メニューでiTunesまたはDropboxを指定します。

3. オーディオ・データを書き出すトラックを指定します。

Master：すべてのトラックのデータをオーディオ・データに書き出します。

Track ＊：指定したトラックのデータのみをオーディオ・データに書き出します。

トラックを指定すると、オーディオ・データの書き出しを開始します。

その他の設定

WIST

「Wist」は近くにある2台のiPadのアプリをワイヤレス通信で同時に演奏スタートできる機能です。友達と一緒に合奏したり、1人で2台のiPadを使って演奏するなど、楽しみ方が広がります。

再生/停止をコントロールする側をマスター、コントロールされる側をスレーブといいます。演奏スタート時にマスター側のテンポ情報がスレーブ側に自動設定されます。

Tip Bluetoothで通信を行います。Wi-Fi環境は必要ありません。

1. 2台のiPadを近くに置き、それぞれBluetoothの設定をオンにします。

2. ボタンをタップして表示されるメニューからWISTの「WIST:ON」をタップします。

   近くにあるiPadの検出がはじまります。通信状況により、検出には時間がかかる場合があります。次のステップに進まない場合は、Cancelをタップしてやり直してください。

3. 検出されたiPadがリストに表示されます。マスター/スレーブを設定するには、スレーブに設定したいiPadに表示されるリストから、マスターに設定したいiPadを選択します。スレーブ側からマスター側にリクエストが送信されます。

4. マスター側で演奏をスタートさせると、スレーブ側も同時に演奏がスタートします。通信状況によって演奏タイミングがズレる場合があります。その場合は、演奏を一旦停止して、再度スタートしてください。

   WISTを解除するには、ボタンをタップして表示されるメニューから「WIST:Off」をタップします。

MIDI Sync

KORG GadgetとiPadに接続した外部MIDI機器とのMIDIクロックの同期について設定します。

1. ボタンをタップして表示されるメニューのMIDI Sync「Int」、「Ext」、「Auto」のいずれかをタップして同期について設定します。

   Int: KORG Gadgetは、内部クロックで動作します。KORG Gadgetを単独で使用するときや、マスター（コントロールする側）として外部MIDI機器を同期させるときに設定します。

   Ext: KORG Gadgetは、接続した外部MIDI機器からのMIDIクロックに同期して動作します。

   Auto: 通常は「Int」の動作になります。KORG Gadgetが接続された外部MIDI機器からMIDIクロックを受信すると、自動的に「Ext」の動作に切り替わります。

2. メニューの外側をタップしてメニューを終了します。

Dropbox

Dropboxとのリンクを設定します。Dropboxへのエクスポートを実行すると、リンクを設定したDropboxのアカウントにデータがアップロードされます。

Note: あらかじめDropboxのアカウント登録が必要です。

1. ボタンをタップして表示されるメニューのDropbox「Unlinked」をタップします。
2. Dropboxへのリンクの許可を求めるダイアログが表示されます。
3. 許可する場合は「許可」をタップします。
   別のアカウントを使用する場合は、「別のアカウントを使用」をタップし、ログインをしてから「許可」をタップします。

   リンクが完了すると、「Unlinked」の表示がDropboxのログイン名に変わります。
   Dropboxのフォルダに「KORG Gadget」フォルダが作成されます。

仕　様

動作環境

OS

iOS 7 以降、64ビットにネイティブ対応。

デバイス

iPad Air、iPad 第4世代、iPad 第3世代、iPad 2、iPad mini Retina、iPad mini

デバイスとトラック数の目安

iPad Air

通常時：20 〜 25トラック
フリーズ機能 併用時：30 〜 35トラック

iPad mini Retina

通常時：20 〜 25トラック
フリーズ機能 併用：30 〜 35トラック

iPad 第4世代

通常時：15トラック
フリーズ機能 併用時：20トラック

iPad 第3世代

通常時：8トラック
フリーズ機能 併用時：12トラック

iPad 2

通常時：5トラック
フリーズ機能 併用時：8トラック

iPad mini

通常時：5トラック
フリーズ機能 併用時：8トラック

- ガジェットの種類や発音数などの条件により異なるため、上記はあくまで指標となります。
- より快適にお使いいただくために最新のiPadでの使用を推奨します。
- フリーズ機能とはCPUパワーを節約して、より多くのガジェットを同時に動かす機能です。

詳細

インストゥルメント

全17種類（本体内蔵：15種類、アプリ内課金：2種類）

総プログラム数

300以上

総サンプル数

500以上

ソング数

制限なし（使用するiPadのスペックに依存）

トラック数

制限なし（使用するiPadのスペックに依存）

分解能

♩/480

BPM

20.0 ～ 300.0

Swing

0 ～ 100%

マスター・エフェクト

リバーブ、リミッター

MIDI

外部MIDI機器による演奏に対応

オーディオ・エクスポート

- GadgetCloud（powered by SoundCloud ）上でのトラックの共有および閲覧が可能
- Abletonプロジェクト・エクスポートに対応
- Dropboxへのアップロードが可能
- AudioCopy対応
- iTunesファイル共有によるMac/PCへのエクスポートに対応

その他

- Audiobus 2対応
- WIST（Wireless Sync-Start Technology）対応

* 仕様および外観は改良のため予告無く変更される場合があります。

サポート・サービスのご案内

ご連絡の際に必要な情報

ご連絡の際、以下の情報が必要になります。これらの情報が確認できない場合、サポート・サービスをご提供できませんので、必ずご提示ください。

- お名前
- 製品名とバージョン(iOSの「設定」から確認できます。)
- ご使用のデバイス名
- OSのバージョン
- ご質問内容(できるだけ詳細にお書きください)

ご連絡の前に

- ご連絡の前に、本マニュアルまたはKORG app Help Centerにご質問内容に対する回答がないかご確認ください。
- デバイスの基本的な操作方法、一般的な曲や音色の作成方法など、当社製品以外に関するご質問については、お答えできませんのであらかじめご了承願います。

お客様相談窓口

- Eメールでのお問い合わせ: techsupport@korg.co.jp
- 電話でのお問い合わせ:

ナビダイヤル 0570-666-569

PHS等一部の電話ではご利用できません。固定電話または携帯電話からおかけください。

- 受付時間 月曜～金曜 10:00 ～ 17:00(祝祭日、窓口休業日を除く)
- 電話でお問い合わせの際には、ご質問の製品が操作できる環境をご用意ください。
- ご質問の内容やお客様の使用環境によって生じる問題などについては、回答にお時間をいただく場合があります。あらかじめご了承願います。